

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターこじか園				公表日	令和8年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		・子どもやクラスに合ったものを渡すことができている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・その都度、確認している。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・6ヶ月に1回、目標の切り替えで振り替えりができている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・ご意見がある際は、速やかに対応するよう心掛けている。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・会議録にクラウドAIを使用するなどし、業務改善を行っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	・保育所等訪問では、訪問先にて、評価を受けているように思う。	・訪問先の意見等を聞き、必要があれば、改善していきたいと思えます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・保育士研修を月に1回設け、研修を行っている。また、法人の研修も参加している。		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・保護者のニーズや子どもの状況及び、訪問先の様子について、アセスメントを行い、支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・アセスメントやモニタリングには、訪問支援員とともに行き、検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・その都度、園の方へ出向き、直接、顔を合わせて話を伺っている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・常に見られる状態にしており、職員間の話にも出るため、知ることができている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・日々の行動観察の他、丁寧にアセスメントをとるなどし、子どもの適応行動の把握に努めている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・ガイドラインを保持し、見直しを行う。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・保育所等訪問を実施している児は、児童発達支援も利用しているため、双方で統一した支援を行っている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・担当の職員との間で、話しをし、共有を回っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・必ず、後に担当職員と話し、困りに対しての共通理解や対応の話をする時間を取っている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問するにあたり、初めのアセスメントの際、訪問先に確認をし、支援を実施している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・毎回の記録は丁寧にを行い、保護者への報告についても実施し、支援の向上に努めている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・前後に保護者の方とモニタリングや報告を行っている。			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・児童発達支援管理責任者が参加している。また、担当職員にも状況を確認するなどし、理解をした上で参加している。			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・リハビリスタッフからの意見を聞くなどし、連携をしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・必要に応じて相互理解をしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・今年度、保育所等訪問についての研修会に参加する予定。また、リハスタッフなど専門分野より助言をもらっている。	・今後も、より専門性を高めるため、職員一同、研鑽に励みます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	・当センターの職員が参加しているため、情報の共有をしている。	・回覧等で職員全体への周知に努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・訪問前と訪問後には必ず面談を行うようにしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・対象の方は、ペアレント・トレーニングを受ける機会がある。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・保護者からの依頼を受けると同時に、訪問先施設にも説明をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・子どもの思いを保護者と確認した上で、保護者の意向も伺うなど、対応をしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・支援計画書作成後に支援内容の確認等、保護者から同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・個別面談を適時実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	・毎月、親の会を催している。きょうだい児登園を受けて入れている。	・児童発達支援事業にて、月に1回、親の会を設けており、今後も、保護者に参加を呼び掛けていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・2ヶ月に1回の頻度で訪問をしており、その際には悩みなども聞いている。 ・いつでも受け入れ、相談できるよう、相談申込用紙を設置している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・こじか園のホームページや、お知らせのアプリを使用し、情報を発信しています。	・今後もこじか園のホームページや、お知らせのアプリを使用し、情報を発信していきます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・慎重に取り扱っている。		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・子どもの状態に合わせた支援を行う中で、意思疎通が図れるよう配慮している。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・いつでも相談に乗っていただけるよう、声掛けを行っている。また、実際に電話等で相談に乗るなどし、支援をしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・訪問支援実施後にカンファレンスの時間を設けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・訪問後、家族へのフィードバックを行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・慎重に取り扱い、十分留意している。	
非常	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		・訪問先施設との信頼関係を築けるよう、より専門性を深める努力をしている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・こじか園内に、訪問先での対応マニュアルは作成している。職員への周知もしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・安全計画は作成している。職員への周知も行っている。	

時 等 の 対 応	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・訪問時にて、インシデントが起きた場合は情報を共有し、検討をおこなう。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・研修を実施し、適切な対応に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		・身体拘束が必要な場合は、法人の委員会を通し検討し、支援計画書に記載している。	